

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
会議名 (審議会等名)	令和4年度 第2回 嬉野市伝統的建造物群保存地区保存審議会		
開催日時	2023年3月23日 14:30~15:30		
開催場所	嬉野市中央公民館 大集会室		
傍聴の可否	可 <b>不可</b> 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由	コロナ禍のため、傍聴不可		
出席者	委員	後藤隆太郎、大森洋子、森繁晴、杉光敬一郎、坂本紀美子、高島郁子、森聡子、峯崎幸清（欠席者、伊東龍一、三島伸雄、松尾光一、白濱幸広、森四朗）	
	事務局	教育長 教育部長、教育総務課長、教育総務課副課長、教育総務課職員3名	
	その他	設計士2名	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	(1) 議題 (2) 名簿 (3) 各種図面		
審議等の内容	別紙のとおり		

# 審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
議題	令和4年度事業について		
内容	事務局より、今年度修理完了4件、市が購入した土地に建築した公開活用施設についての完了報告をおこなった。		
審議経過	設計士	<b>a 寺</b> 敷石が出たため、その上に施工した。礎石との間にあるホゾがなくなっていたため、ホゾの復活をした。 (質疑なし)	
	設計士	<b>b 家土蔵</b> (質疑なし)	
	設計士	<b>c 家主屋</b> 洋風応接間は全面葺き替えの予定だったが、割れた瓦が多数あり、半分は既存瓦、半分は新材とした。また、次回修理時等のために、余分に残した。洋風応接間と和風部分は谷が入り組み、谷樋について洋風応接間部分と和風部分にも設けた。屋裏の痕跡から当初は和風部分を造り、建築途中に洋風応接間を作ったことがわかった。	
	委員	洋風応接間の瓦は鮮やかな色だが珍しい瓦なのか地元産か。新材についてはどうか。	
	設計士	陶器瓦の洋瓦。地元産ではない。伝建地区隣接に1軒同じ瓦を採用した所がある。新材は平瓦だが現代のものを使った。ケラバの袖瓦には既存の瓦を使い、正面からは旧来の形に見えるよう配慮した。 <b>公開活用施設建設</b> (質疑なし)	
設計士	折れた柱は耐力的に弱く、添え柱と胴差で受けるようにした。		
委員	東側立面を見ると、窓に下屋がかぶっているが雨仕舞は問題ないか。		
設計士	窓の外に下屋が飛び出ている。室内で開閉でき問題ない。		
その他			

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
議 題	令和5年度 事業について		
内 容	事務局より、e家とf社について概要説明をおこなう。いずれも基本設計をした設計士が修理の詳細の説明をおこなう。		
審議経過	設計士	<p><b>e家</b></p> <p>パラペット裏から調査をした。正面左右の土壁は残っているが正面右側は土壁がはがれている。その中央にある窓は現存しており敷居鴨居も残っている。雨戸の痕跡もあるが、漆喰の完成後に付けており上には固定されていない。1階表の下屋は垂木受けの部材があり垂木の大きさは分かるが下屋自体は現在ない。1階は両サイドに小壁を設け、持ち送りを設ける。当初は全面修理予定だが、金額面で施主と協議し計画した。屋根、正面、東西の側面の一部とし、将来を考え修理計画とした。</p>	
	委員	東西立面図の2階開口部の大きさは、大きめではないか。	
	設計士	現在アルミサッシで引違となっている。2階部分はほとんどが物置となり、開口部がある場所が生活空間となっている。生活を考慮しつつ計画した。以前の審議会で、仕方なく新設する場合、単窓程度でかつ木製格子を付けるよう指導があった。	
	委員	元々、開口部計画の部分はどうだったか。	
	設計士	無いと思う。アルミサッシがあり、現時点では痕跡はない。	
	委員	2階の雨戸袋は板戸となっているが、塩田津には違和感がある。雨戸自体は建物完成から早い時期に付けられたとは思いますがその姿に戻す必要もない。雨戸は横にあったのではないか。雨戸は（生活するにあたり）必要か。	
	設計士	漆喰の巻き込みから考えて、開口部の横にはない。雨戸は利用にあたり必要。	
	委員	雨戸袋が開口部の中央にあっても機能するのか。	
	設計士	機能する。	
	委員	痕跡から当初ではなく、おさまりから現代のものでもない。そこが今回の問題である。	

	<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>設計士</p> <p>委員</p> <p>設計士</p> <p>委員</p> <p>設計士</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>設計士</p>	<p>土壁の竹木舞からやり直すのであれば、なおさら痕跡等現場で確認すること。</p> <p>現場でも再確認する。</p> <p>当初、雨戸は室内に片付け、必要時に室内から出した可能性もあり、利便性のために途中に雨戸を付けた可能性もある。雨戸の敷居鴨居の痕跡から時期差が分かるかもしれない。</p> <p>可能性としてありそうである。</p> <p><b>f 社</b></p> <p>前回、建物の保全のため高根継ぎを提案したが、委員より検討すべきと指導があった。そのため、今回の根継ぎ位置としているが、経年劣化による部材の傷み等あるため多少高さの違いが出る可能性もある。</p> <p>根継ぎの木材は建物本体と同一にするのか。塗装の予定はあるか。</p> <p>根継ぎの木材は本体と同じ杉とする。塗装の予定である。</p> <p>本殿は祠のみか。祠等は特定物件か。社としての境内空間であるため、他にも修理すべき所があるなら同じタイミングで修理しても良いと思うが、どうか。</p> <p>祠も工作物である。</p> <p>他の修理すべき所は無い。建物の保全のため植栽を伐採予定である。</p>
<p>その他</p>		

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	教育総務課
議 題	その他		
内 容	事務局より街なみ環境整備事業について、説明する。		
審議経過	事務局	<p>令和4年度            山下地区にある塩田区所有の無蓋の防火水槽（40 t）を廃止する為に解体埋立工事を行っている。その防火水槽の廃止に伴い道路内に本格消防用の地下式消火栓1基新設を行っている。今年度の簡易消火栓の設置は、g 寺の境内に1基とみなと広場の荷揚げ台の奥、h 家の裏に1基設置している。まだ施工中で完了に向けて急ピッチで工事を行っている。</p> <p>令和5年度            今年度完成オープンした「まちなみてらす」の横の里道御蔵馬西線通路美装化工事を予定している。委託は、山下地区にある町分防火水槽（無蓋）が漏水がひどいので有蓋の防火水槽に入替える為の設計業務委託を予定している。</p> <p>(質疑なし)</p>	
その他			

